

平成28年度第2回長浜市地域公共交通会議 議事録

日 時	平成29年2月10日（金）11:00～11:50
場 所	長浜市役所東館3階 特別会議室
出席者	<p>出席：石井委員、戸田委員、芝委員、速水委員、田邊委員、小森委員、 中川委員、野村委員、濱田委員、立川委員、木下委員、北川委員、 小山委員、脇坂委員、赤井委員、岸田委員、土田委員</p> <p>欠席：北詰委員、清水委員、藤田委員、饗場委員、古川委員（以上5人）</p> <p>傍聴者：3名</p> <p>事務局：今井都市建設部長 都市計画課 中川次長、山岡室長、河瀬主査、高田主事</p>
（司会）	開会
（市長）	（開会あいさつ）
（司会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。それでは議事に入ります。 ・会議の議長につきましては、会議規則第5条第2項によりまして、会長が議長となります。藤井会長に会議の進行をお願いします。
（議長）	<ul style="list-style-type: none"> ・規則に基づき、議長を務めさせていただきます。委員の皆様には議事のスムーズな進行にご協力賜われますようお願いいたします。 ・それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。本日は報告事項5件、協議事項が1件となっております。 ・まず、報告事項5件のうち報告事項1～4まで、事務局より説明願います。
（事務局）	（事務局議案説明）
（議長）	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今の説明について、ご意見・ご質問はございませんか。
（委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項4のアンケートについて、実際に利用したことがある世帯数や人数はどの程度かということについて、わかればお教えいただけますか。
（事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なデータは持ち合わせてはおりませんが、西浅井地域におきましても自家用車による移動が主であるという状況のなかで、今回のアンケートの結果が概ねバスを利用したことがある世帯数・人数に近いものであるかと推察しております。
（委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項1について、これは決定事項ということですので、変えようのないものだと思いますが、私自身、県内の公共交通会議の委員をさせていただいております。実は本日もそうですが、会議開催日が重なることがあります。そういったなかで欠席だけはないように、対応させていただいておりますが、代理出席が認められないとなってくると、開催日程の事前調整をお願いしたいというのが1点ございます。それでも日程が重なる場合は、委員としての出席は認められないと思いますが、代理の者の入室を認めていただきたいと考えております。

- (事務局) ・ 今回の規則改正は市の指針に基づくものであることから、ご理解をいただきたいところですが、元々代理出席を認めることとしておりましたのは、事務局としましてもこの会議の重要性を認識したうえで、広く関係者の皆様のご意見をいただくための運用でありましたので、今後の開催につきましては、事前の日程調整をさせていただくというところで、ご理解をお願いしたいと思います。
- (委員) ・ 先進自治体を視察されたということですが、その内容について、お聞かせいただけますか。
- (事務局) ・ まず視察先については、先行的に策定された近隣の同規模自治体ということで選定しました。ただ、同規模とはいっても人口規模は近いですが、面積、地形、まちのつくられ方、事業者数などそれぞれ違いがあることから、長浜市が同じことをすると良いかと言えば、そうではないこともあります。策定までに取り組みされた経過について、お聞きしてきました。
また、シンポジウムの開催についてさきほどご説明をいたしました。計画策定に向けては地域の皆様との意見交換が大事だということで、先行自治体でも地域説明会は重点的に取り組まれたと聞いております。本市は広い市域ではありますが、積極的に行っていきたいと考えております。
- (委員) ・ これは参考にしたいという具体例はありましたでしょうか。例えば財政負担を抑える手法などはどうでしたか。以前、意見を述べたこともあります。乗客なしでの運行や、一人しか乗っていない運行なども見かけるなかで、それよりはデマンド運行を活用するとか提案したこともあります。そのあたり、先進地ではどのような取り組み方なのか教えていただけますか。
- (事務局) ・ ある程度の目標設定をもって、地域の方々との意見交換をし、それに満たないところは縮小も視野に検討したという話も聞きました。ただ、そこに至るには地域の方々とのコミュニケーションをしっかりとったうえでということが重要ですので、一つの手法として参考にしていきたいと考えております。
- (委員) ・ ノンステップバスの導入についてですが、国はわずか70万円の補助金ということで、制度設計自体の話になりますが、国の思いとして70万円しかないのか、これは各自治体が主体的にやる事業だというように国が考えられているならば、やらなくても良いという考え方も出てきます。国は制度設計に基づいて、この事業に対してしっかりと補助金を確保するので、各自治体は進めてくださいというスタンスなのか教えていただきたい。
- (委員) ・ 前回の会議でもご意見いただきましたが、この補助金は多くの自治体からの要望があり、限られた予算を取り合っているのが現状です。国の制度としては、しっかりと支援していこうというものでありますが、1件の金額を多くするのではなく、できるだけ多くの自治体を支援しようという考えです。十分な金額でないことは承知しておりますが、ご理解をお願いします。
- (議長) ・ その他何かございますか。ないようですので、報告事項を終わります。次に協議事項に入ります。本日の協議事項は1件です。それでは事務局から説明願います。

(事務局) (事務局議案説明)

(議長) ・ただ今の説明について、ご意見・ご質問はございませんか。
ないようですので、協議事項1について、これを承認することに異議はございませんか。
異議なしのお声をいただきましたので、本件については協議が調ったものいたします。
これをもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。せっかくの機会ですので、委員の皆様から何かご発言があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員) ・滋賀県で来年度の新規事業として、「地域協働交通社会実験事業」ということで予算化いたしました。今後、公共交通をどうしていくのかということを考えていかなければいけないというなかで、滋賀県としてはこれまで鉄道などのインフラ整備に重点を置いておりましたが、身近なところで地域においてどのようなことをされているのかということをしかりと把握し、県の施策として反映させていきたいというのが目的でもあります。来年度、長浜市では公共交通網形成計画を策定されるということもありますので、県としてもしっかりと連携していきたいと考えております。

(委員) ・西浅井地域のアンケートについては実施結果の報告がありましたが、報告事項のなかで地域説明会や小谷連合を対象にされたアンケートもあったということで、その結果についてもご報告をお願いしたいと思います。
また、湖北地区ではこの時期、たくさんの水鳥がやってきますので、観察に来られる方が大勢いらっしゃいますが、ワゴン車タイプの「こはくちょうバス」は乗車定員が少ないため、乗り切れないことがあるということも聞いております。アンケートの結果もふまえていろいろと考えていただけていることと思いますが、観光で来られる方にとっても便利なバスであってもらえればと思います。

(事務局) ・小谷連合のアンケートにつきましては、小谷連合各自治会長様には結果をお返ししておりますが、現在、最終集計中の西浅井地域のアンケート結果とともに、次回の会議にてご報告させていただきます。

(委員) ・1点確認をいたしますが、本年3月12日から高齢者の運転免許の更新制度が変わります。これに伴って、更新を希望される方のなかでも更新できないという方も多く出てくると予測されます。運転免許自主返納支援事業の報告のなかで、申請者が増加されているということでしたが、来年度はさらに増えることが見込まれます。この支援事業は継続という認識でよろしかったでしょうか。

(事務局) ・来年度も継続いたします。

(委員) ・西浅井地域のアンケートの意見のなかで、電車のようにICOCAカードが利用できるようにしてほしいという意見がありますが、これは可能なのか不可能なのか、可能であればいつごろからなのかお聞かせいただけますか。

(事務局) ・これについては、バス事業者様の対応という話になりまして、そのインフラ整備については導入コストなど課題があると聞いております。ただ、全く検討されていないということではなく、検討はされていると聞いております。

(委員) ・今の件で補足させていただきます。県内のバスでICOCAが使用できるのが、大津を走っている京阪バス・江若バスとなっております。今後、利便性向上のためにはICカードの導入は進めていきたいと考えておりますが、かなり高額な費用が伴いますので、この負担を事業者まかせにしているのか、それとも広く利便性の向上を図るために、一定の行政負担をしていくべきなのかということを検討しているところで、県内で勉強会を開催したいと考えております。

(委員) ・ICカードの導入については、国の支援もございます。

(議長) ・本日用意しておりました議事のすべてを終了いたします。委員の皆様におかれましては、慎重なご協議を賜り、ありがとうございました。これにて議長を終えまして、進行を事務局に返します。

(司会) 藤井会長、議事を進行いただきありがとうございました。
また、委員の皆さまにおかれましては、慎重に協議いただきましたことを厚くお礼申し上げます。
閉会にあたりまして、長浜市都市建設部長の今井よりご挨拶申し上げます。

(部長) (閉会の挨拶)

(司会) それでは、これで平成28年度第2回長浜市地域公共交通会議を閉会いたします。本日は、ありがとうございました。

(終了)